

問1 明治時代後半の日本の産業の動きについて述べた文として、当時の輸出統計や生産状況の背景をふまえて正しいものを選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)

- 日清戦争の賠償金を用いて、イギリスから輸入していた石炭をすべて国内自給できるようになった。
- 開国以来の主要輸出商品であった生糸の生産が衰退し、代わりに綿織物の輸入が急増した。
- 八幡製鉄所の操業により、重工業製品である鉄鋼が、綿糸に代わって輸出総額の第1位となった。
- 紡績業の発達により、1890年代に綿糸の生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には輸出が本格化した。

問2 20世紀初頭、ヨーロッパでは二つの大きな陣営が対立し、緊張が高まっていました。ドイツ、オーストリア、イタリアの3カ国が結成した「三国同盟」に対し、イギリス、フランス、ロシアの3カ国が形成した協力関係を何と呼ぶか、正しい名称と、その陣営に含まれる国の組み合わせを選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

- 三国協商 (イギリス・フランス・ロシア)
- 三国同盟 (フランス・ロシア・イタリア)
- 国際連盟 (イギリス・フランス・日本)
- 三国協商 (イギリス・ドイツ・オーストリア)

問3 ある明治時代の製糸工場では、朝の4時15分から夜の7時30分まで就業が続き、休憩時間を除いた実労働時間が14時間30分に及ぶといった過酷な状況にありました。1911年に制定された工場法が、このような状況にある労働者に対して果たした役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)

- ストライキなどの社会運動を厳しく制限し、工場の生産性を高めることを優先した。
- 女性や年少者の労働時間に制限を設け、最低限の労働条件を確保しようとした。
- 労働者の給与に最低賃金制を導入し、生活水準の底上げを図った。
- すべての労働者に労働三権を保障し、労働組合の結成を全面的に認めた。

問4 日露戦争の終結に際し、アメリカの仲介で行われたポーツマスでの講和会議の内容や、その後の日本の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- この条約により日本は朝鮮半島から手を引き、代わりに南満州の全域を領有することになった。
- ポーツマス条約の締結直後に、日本はロシアとともに第一次世界大戦への参戦を決定した。
- アメリカの仲介により、日本は樺太全土と沿海州の利権をロシアから無償で譲り受けた。
- ロシアからの賠償金が支払われなかったため、日本国内では不満が高まり日比谷焼打ち事件が起こった。

問5 日清戦争後の1895年、ロシア、フランス、ドイツの三カ国が日本に対して遼東半島を清に返還するよう求めた「三国干渉」について、その背景や影響を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)

- ロシアは、日本が遼東半島を占領することで自身の南下政策が妨げられることを恐れ、他国を誘って干渉を行った。
- イギリスは、日本が遼東半島を獲得することでアジアの勢力均衡が崩れることを懸念し、ロシアとともに返還を求めた。
- 日本は三国干渉を拒否し、直ちにロシアとの間で日露戦争を開始する決断を下した。
- この干渉の結果、日本は遼東半島だけでなく、同時に獲得した台湾についても清へ返還することとなった。

問6 1889年2月11日に、天皇が国民に与えるという形式で発布された日本最初の近代憲法を何といいますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

- 十七条の憲法
- 日本国憲法
- 五箇条の御誓文
- 大日本帝国憲法

問7 明治時代の日本の産業革命において、外貨獲得の中心的な役割を担った産業と、その主な労働力となった人々についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

- 綿紡績業などの軽工業を中心に発展したが、労働者のほとんどは武士の娘たちであった
- 造船業などの重工業を中心に発展し、海外から移住してきた女性たちが工女として従事した
- 八幡製鉄所に代表される重工業を中心に発展し、都市部の男性労働者が中心を担った
- 製糸業などの軽工業を中心に発展し、農村出身の女性たちが工女として労働力の中心を担った

問8 日露戦争後の時期における日本の学問の発展について述べた文として、当時の社会状況や背景をふまえて最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

- 明治初期の啓蒙思想に基づき、福沢諭吉が欧米の自由主義思想を紹介することに専念した。
- 教育の普及により近代的な学問が発展し、医学分野では野口英世や北里柴三郎らが国際的な成果をあげた。
- 安土桃山時代以前の宣教師による学問伝来が実を結び、宗教的な視点からの科学研究が中心となった。
- 江戸時代からの伝統を引き継ぎ、杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を出版した。

問9 1877年に開校した札幌農学校（現在の北海道大学）に象徴される、明治時代の北海道開拓に関わる歴史的な背景について、正しい説明はどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)

- 明治政府はアイヌの人々の伝統的な文化を尊重し、日本語の使用を強制することはなかった
- 当時、北海道は「蝦夷地」と呼ばれたまま、清（中国）との国境交渉が続いていた
- 北海道の開拓は順調に進んだため、屯田兵などの移住を募る必要はなかった
- 開拓使は、アメリカなどの外国から技術や専門家を招いて近代的な農業や産業を導入した

問10 1885年にそれまでの太政官制に代わって導入された、行政権を担う新しい政治機構の名称と、その組織の最高責任者である初代内閣総理大臣として就任した人物の正しい組み合わせを選択してください。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

- 議院内閣制 - 板垣退助
- 枢密院 - 大隈重信
- 内閣制度 - 山県有朋
- 内閣制度 - 伊藤博文

問11 自由民権運動の中で結成された「自由党」や、その後に発布された「大日本帝国憲法」に関連する記述として、当時の背景や内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

- 大日本帝国憲法は、主権が国民にあることを明記し、議会の権限を天皇より上位に置いた。
- 治安維持法によって運動が厳しく取り締まれ、政党結成の動きは完全に阻止された。
- 25歳以上のすべての男子に選挙権を与える普通選挙法の制定が運動の最大目的であった。
- 藩閥政治を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めて運動が展開された。

問12 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと云えり」という一節で有名な著書『学問のすゝめ』を書き、人間の自由や権利、平等な関係の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)

- 板垣退助
- 中江兆民
- 福沢諭吉
- 津田梅子

答え合わせ・解説

問1	答え 4 紡績業の発達により、1890年代に綿糸の生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には輸出が本格化した。	日本の産業革命は、まず紡績業や製糸業といった軽工業から始まりました。特に綿糸は、1890年に国内生産量が輸入量を上回り、1897年には輸出量が輸入量を上回るなど、急速に輸出産業へと成長しました。1899年の統計でも輸出総額の13.3パーセントを占める重要な品目となっています。重工業の発展はこれより後の日露戦争前後から本格化します。
問2	答え 1 三国協商（イギリス・フランス・ロシア）	19世紀末から20世紀初頭にかけて、急速に勢力を拡大するドイツに対抗するため、イギリス、フランス、ロシアの3カ国は互いに協力関係を築きました。これを「三国協商」と呼び、ドイツ・オーストリア・イタリアによる「三国同盟」と激しく対立しました。これが第一次世界大戦の勃発につながる大きな背景となりました。
問3	答え 2 女性や年少者の労働時間に制限を設け、最低限の労働条件を確保しようとした。	当時の労働現場では、実労働時間が14時間を超えるような非人道的なスケジュールが組まれていました。工場法は、特に身体への影響が大きい女性や年少者を対象として、深夜業の禁止や労働時間の短縮を規定することで、労働者の保護を図ることを目的としていました。これは日本の社会政策の大きな転換点となりました。
問4	答え 4 ロシアからの賠償金が支払われなかったため、日本国内では不満が高まり日比谷焼打ち事件が起こった。	ポーツマス条約では、日本は領土や鉄道利権などを獲得したものの、期待されていた賠償金（軍事費の埋め合わせ）をロシアから得ることができませんでした。長引く戦争と重税に苦しんでいた日本の国民は、この講和内容に激しく反発し、東京の日比谷公園での集会をきっかけとした暴動「日比谷焼打ち事件」へと発展しました。条約では韓国（朝鮮半島）における日本の指導・監督権も認められています。
問5	答え 1 ロシアは、日本が遼東半島を占領することで自身の南下政策が妨げられることを恐れ、他国を誘って干渉を行った。	ロシアは不凍港（冬でも凍らない港）を求めて東アジアへの進出（南下政策）を狙っていたため、日本が大陸の拠点である遼東半島を領有することに強く反対しました。当時、ロシアはフランスと露仏同盟を結んでおり、ドイツもヨーロッパ情勢の安定のためにロシアの関心を東アジアに向けさせようとしたため、この三カ国による干渉が実現しました。日本は当時の国力では三カ国に対抗できないと判断し、やむを得ず遼東半島を清に返還しました。
問6	答え 4 大日本帝国憲法	明治政府は近代国家の枠組みを整えるため、プロイセン（ドイツ）の憲法を参考に作成を進めました。1889年に発布されたこの憲法は、主権が天皇にある「欽定憲法（きんていけんぽう）」としての性質を持っています。1946年に公布された日本国憲法と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 4 製糸業などの軽工業を中心に発展し、農村出身の女性たちが工女として労働力の中心を担った	日本の工業化は、生糸を生産する製糸業や綿糸を生産する紡績業といった軽工業から本格化しました。これらの工場では、現金収入を求めて農村から出てきた多くの女性（工女）が、低賃金や長時間労働という過酷な条件下にありながらも、日本の近代化を支える主要な労働力となりました。
問8	答え 2 教育の普及により近代的な学問が発展し、医学分野では野口英世や北里柴三郎らが国際的な成果をあげた。	日露戦争後の日本では、義務教育の就学率が非常に高まり、国民全体の知識水準が向上しました。この教育の普及が、高度な科学技術を理解し発展させる基盤となりました。医学分野での野口英世や北里柴三郎の活躍は、単なる個人の才能だけでなく、国全体として近代化を推し進め、学問を奨励した結果といえます。他の選択肢にある『解体新書』は江戸時代、福沢諭吉の思想紹介は明治初期の出来事であり、時期や学問の性質が異なります。
問9	答え 4 開拓使は、アメリカなどの外国から技術や専門家を招いて近代的な農業や産業を導入した	開拓使は、アメリカからクラーク博士などの「お雇い外国人」を招き、大規模な農法や技術の導入を進めました。札幌農学校の設置はその一環です。一方で、政府は北海道の土地の所有権を否定する法を定め、アイヌの人々の伝統的な狩猟を禁じて農業を強いるなど、文化や生活基盤を損なわせる同化政策も進めていきました。
問10	答え 4 内閣制度 - 伊藤博文	憲法制定に先立ち、近代的な行政機構を整える目的で1885年に内閣制度が創設されました。ドイツ（プロイセン）の制度などを参考に憲法草案を作成していた伊藤博文が、その手腕を期待されて初代内閣総理大臣に就任しました。板垣退助は野党側の立場である自由党の総理（党首）であり、政府の役職である初代内閣総理大臣ではありません。
問11	答え 4 藩閥政治を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めて運動が展開された。	自由民権運動は、明治政府の要職を薩摩藩や長州藩などの出身者が占めていた「藩閥政治」への不満が背景にあります。板垣退助らは、国民が選出した代表者によって構成される「民撰議院（国会）」を作ることで、この独占的な政治を正そうとしました。普通選挙法や治安維持法は、さらに後の時代（大正から昭和初期）に関連する事象であるため、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 福沢諭吉	この人物は、封建的な身分制度を否定し、個人が学問を修めて実力や知恵を身につけることが、個人の独立、ひいては国家の独立につながると考えました。欧米の事情を日本に紹介し、近代的な思想を広めた啓蒙思想家の代表格です。